

四半期報告書

(第26期第1四半期)

自 平成24年4月1日
至 平成24年6月30日

株式会社ゴルフ・ドウ

さいたま市中央区上落合二丁目3番1号

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1

第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	3
(2) 新株予約権等の状況	3
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	3
(4) ライツプランの内容	3
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	3
(6) 大株主の状況	3
(7) 議決権の状況	4

2 役員の状況	4
---------------	---

第4 経理の状況	5
----------------	---

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9

2 その他	12
-------------	----

第二部 提出会社の保証会社等の情報	13
-------------------------	----

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月14日
【四半期会計期間】	第26期第1四半期（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）
【会社名】	株式会社ゴルフ・ドゥ
【英訳名】	GOLF・DO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊東 龍也
【本店の所在の場所】	埼玉県さいたま市中央区上落合二丁目3番1号
【電話番号】	（048）851－3111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 経営管理本部長 大井 康生
【最寄りの連絡場所】	埼玉県さいたま市中央区上落合二丁目3番1号
【電話番号】	（048）851－3111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 経営管理本部長 大井 康生
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所（セントレックス） （愛知県名古屋市中区栄三丁目8番20号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第25期 第1四半期連結 累計期間	第26期 第1四半期連結 累計期間	第25期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高（千円）	992,208	1,205,150	4,043,595
経常利益（千円）	17,817	43,705	130,381
四半期（当期）純利益（千円）	13,843	32,774	103,708
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	11,910	27,846	107,536
純資産額（千円）	387,027	511,610	483,763
総資産額（千円）	2,035,801	2,137,890	1,970,981
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	1,118.74	2,642.26	8,379.14
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	19.0	23.9	24.5

- （注） 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要など国内需要が堅調に推移するなど、緩やかに持ち直しつつあるものの円高や欧州財政危機等の影響が懸念され、企業活動の低迷や消費マインドの悪化等、足元の景況感としては不透明な状況が続いております。

ゴルフ業界におきましては、昨年の震災の影響による自粛ムードからの反動からか、消費者の購買意欲は回復に向かい、プレー人口においても、ゴルフ場／練習場の利用者数が平成24年6月には前年同月比106.0%/101.0%と回復傾向で推移しております（経済産業省「特定サービス産業動態調査」）。

このような経営環境のもと、当社グループでは前期から引き続き、事業全体の収益性向上を目指し、業務の効率化や在庫の適正化等による粗利益率の改善及び経費削減に努めてまいりました結果、売上高、経常利益が堅調に推移いたしました。また、店舗につきましては、直営事業、フランチャイズ事業ともに新規出店はありません。フランチャイズ事業において平成24年4月末に1店舗の閉店があり、その結果、平成24年6月末日現在の営業店舗数は全国で合計72店舗となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高12億5百万円、営業利益が43百万円、四半期純利益32百万円となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

① 直営事業

当第1四半期連結累計期間においては、昨年の震災によるゴルフプレー自体の自粛ムードから一転、購買意欲も回復傾向に向かい、平成24年4月度の売上高前年比が128.1%となりました。さらに顧客獲得のための弊社独自の接客向上策を推進してまいりましたことにより、新規顧客はもとよりリピーター顧客も増加、前年より購入顧客数が増えたことにより、当第1四半期の売上高前年同四半期比は、113.3%となりました。

その結果、直営事業の売上高は6億85百万円（前年同四半期売上高6億5百万円）となりました。また、セグメント利益は56百万円（前年同四半期セグメント利益31百万円）となりました。

② フランチャイズ事業

当第1四半期連結累計期間においては、当初想定した予算のとおりには加盟店の売上高が達成できず、計画とおりのロイヤリティ収入が確保できませんでした。また、4月末日には小規模な店舗であります松阪店（三重県）の1店舗が閉店いたしました。

その結果、フランチャイズ事業の売上高は97百万円（前年同四半期売上高1億15百万円）となりました。また、セグメント利益は39百万円（前年同四半期セグメント利益43百万円）となりました。

③ 営業販売事業

当第1四半期連結累計期間においては、昨年の震災の影響による自粛ムードから一転、大型店から小型専門店、ネット事業者に至るまで販売意欲が回復傾向となり、受注が増えました。また一部の人気ブランドの新商品も売上に寄与し、売上高は堅調に推移しました。

その結果、営業販売事業の売上高は4億22百万円（前年同四半期売上高2億71百万円）となりました。また、セグメント利益は5百万円（前年同四半期セグメント損失3百万円）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	44,000
計	44,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数（株） （平成24年6月30日）	提出日現在発行数（株） （平成24年8月14日）	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	13,113	13,113	名古屋証券取引所（セントレックス）	単元株式数 1株
計	13,113	13,113	—	—

（注）「提出日現在発行数」欄には、平成24年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年 月 日	発行済株式 総数増減数 （株）	発行済株式総 数残高（株）	資本金増減額 （千円）	資本金残高 （千円）	資本準備金増 減額（千円）	資本準備金 残高（千円）
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	—	13,113	—	501,320	—	178,372

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 709	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 12,404	12,404	—
単元未満株式	—	—	—
発行済株式総数	13,113	—	—
総株主の議決権	—	12,404	—

② 【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 （%）
株式会社ゴルフ・ドゥ	埼玉県さいたま市 中央区上落合二丁目 3番1号	709	—	709	5.40
計	—	709	—	709	5.40

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	221, 127	392, 631
受取手形及び売掛金	227, 389	272, 212
商品	775, 866	749, 251
繰延税金資産	54, 710	52, 472
その他	32, 678	32, 595
貸倒引当金	△3, 717	△3, 644
流動資産合計	1, 308, 055	1, 495, 519
固定資産		
有形固定資産	203, 022	196, 566
無形固定資産		
のれん	56, 799	52, 429
その他	35, 884	34, 660
無形固定資産合計	92, 683	87, 090
投資その他の資産		
その他	383, 344	374, 838
貸倒引当金	△16, 124	△16, 124
投資その他の資産合計	367, 220	358, 713
固定資産合計	662, 926	642, 371
資産合計	1, 970, 981	2, 137, 890
負債の部		
流動負債		
買掛金	249, 975	253, 657
短期借入金	230, 000	289, 194
1年内返済予定の長期借入金	223, 958	244, 875
未払法人税等	12, 063	6, 672
賞与引当金	18, 742	14, 385
ポイント引当金	21, 037	19, 575
その他	125, 895	118, 801
流動負債合計	881, 671	947, 162
固定負債		
長期借入金	447, 530	516, 265
退職給付引当金	77, 084	83, 779
資産除去債務	27, 424	27, 566
その他	53, 506	51, 506
固定負債合計	605, 546	679, 117
負債合計	1, 487, 217	1, 626, 280

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	501, 320	501, 320
資本剰余金	178, 372	178, 372
利益剰余金	△165, 246	△132, 471
自己株式	△23, 625	△23, 625
株主資本合計	490, 821	523, 596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△829	△1, 895
為替換算調整勘定	△6, 228	△10, 090
その他の包括利益累計額合計	△7, 057	△11, 985
純資産合計	483, 763	511, 610
負債純資産合計	1, 970, 981	2, 137, 890

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	992,208	1,205,150
売上原価	650,517	826,999
売上総利益	341,691	378,150
販売費及び一般管理費	323,624	334,155
営業利益	18,066	43,995
営業外収益		
受取利息	868	814
受取手数料	633	660
為替差益	1,837	1,146
その他	990	767
営業外収益合計	4,329	3,389
営業外費用		
支払利息	4,478	3,481
その他	99	197
営業外費用合計	4,578	3,679
経常利益	17,817	43,705
税金等調整前四半期純利益	17,817	43,705
法人税、住民税及び事業税	5,349	8,760
法人税等調整額	△1,375	2,169
法人税等	3,974	10,930
少数株主損益調整前四半期純利益	13,843	32,774
四半期純利益	13,843	32,774

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,843	32,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	823	△1,065
為替換算調整勘定	△2,756	△3,862
その他の包括利益合計	△1,933	△4,927
四半期包括利益	11,910	27,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,910	27,846

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
減価償却費	11,807千円	11,020千円
のれんの償却額	4,369	4,369

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	合計
売上高				
外部顧客への売上高	605,219	115,338	271,650	992,208
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	605,219	115,338	271,650	992,208
セグメント利益又は損失(△)	31,740	43,967	△3,493	72,214

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	72,214
のれんの償却額	△4,369
全社費用（注）	△49,779
四半期連結損益計算書の営業利益	18,066

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	合計
売上高				
外部顧客への売上高	685,570	97,454	422,125	1,205,150
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	685,570	97,454	422,125	1,205,150
セグメント利益	56,122	39,503	5,626	101,252

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	101,252
のれんの償却額	△4,369
全社費用（注）	△52,887
四半期連結損益計算書の営業利益	43,995

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	1,118円74銭	2,642円26銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	13,843	32,774
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	13,843	32,774
普通株式の期中平均株式数(株)	12,374	12,404
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変更があったものの概要	—	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8 月10日

株式会社ゴルフ・ドゥ

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 松 本 保 範 印
業 務 執 行 社 員

指定有限責任社員 公認会計士 瀬 戸 卓 印
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ゴルフ・ドゥの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ゴルフ・ドゥ及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注） 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。